

研究課題名	バッドキアリ症候群と原発性胆汁性胆管炎の発生動向およびその予後に関する疫学研究
研究の意義・目的	本研究では指定難病の医療費助成の申請時に提出された臨床調査個人票の既存データを集計解析することにより、バッドキアリ症候群や原発性胆汁性胆管炎の発生状況や予後について調べます
研究を行う期間	倫理委員会承認後～ 2023年3月
研究協力をお願いしたい方(対象者)	2001年4月～2020年3月に、バッドキアリ症候群、原発性胆汁性胆管炎の診断名で、指定難病の医療費助成に関する受給者証を交付された方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	指定難病の医療費助成の申請時に提出された臨床調査個人票の下記項目を本研究に使用させていただきます。 診療情報等：診断名、年齢、生年月、性別、家族歴、発症年月、介護認定、要介護度、生活状況、身長、体重、臨床症状、重症度、血液検査、病理組織検査、超音波・CT・MRI・腹腔鏡・血管造影・内視鏡検査、既往歴、治療内容
試料・情報の他機関への提供	この研究は、厚生労働省から情報の提供を受けて、実施します。集計解析は、大阪市立大学大学院医学研究科公衆衛生学のみで行い、他の施設に情報は提供いたしません。
この研究を行っている共同研究機関	この研究は大阪市立大学大学院医学研究科公衆衛生学のみで行います。
試料・情報を管理する責任者	大阪市立大学大学院医学研究科 公衆衛生学 研究責任者 大藤さとこ
本研究の利益相反	利益相反の状況については大阪市立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
連絡先	大阪市立大学大学院医学研究科 公衆衛生学 (担当者氏名) 大藤 さとこ 電話番号：(06) 6625—3756